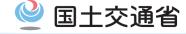
## 技術的課題の見える化のためのアンケート等実施方法について

## 技術的課題の見える化のためのアンケート等実施方法(案)



- ○資料 2 1で示したアンケートを下表の要領で実施し、<u>本推進会議の検討対象技術</u>に関し、<u>全国特別重点調査等での活用等を通じ明</u> らかとなった技術的課題を、より詳細に把握(見える化)する。
- ○アンケートで把握された技術的課題に基づき、本推進会議において、**検討対象技術に対する開発目標の設定**\*を行う。
- \*例えば、大口径で水位が高く潜行目視が困難という<u>調査難所</u>においてドローンを活用し解決しようとする場合、スクリーニング調査として活用するのか、詳細調査として活用するのかなど<u>用途を明確化</u>したうえで、当該用途に求められる<u>要求性能と現状の技術水準・課題とのギャップ</u>を埋めるための<u>開発目標</u>(例えば、飛行時間・画像解像度・自己位置誤差等)

項目	内容
実施期間	2025年10~11月(予定)
アンケート対象	本推進会議の検討対象技術を用いて、全国特別重点調査等を実施している自治体及び民間事業者(必要によりヒアリング実施)
調査内容	(1)調査難所の詳細
	<b>(3)管路調査診断業務の現状のビジネスモデル</b> 発注形態/資格要件/参照図書・基準類 など   ・・・・(ビジネスモデル検討のための現状把握)